

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP 3, A-STEP 1
L-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・抽象的な概念を表す語句をまとめ、理解する
 - ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得る
 - ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分を付加的な部分を聞き取りまとめる
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・NDCをもとに、資料の配架場所をしっかりと把握する
 - ・与えられた資料がどの分類に属するのかを考える
 - ・大きなくくりやその細分化を理解することでどの分類にあるのかを理解する

単元における学習の展開（全3時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕分ける」ことの簡単な導入。 ・「仕分け方」にもさまざまなことがあることを理解する。 ・自校の図書館の「仕分け方」がどうなのかを予想する。
第2次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習 ・図書館の資料を日本十進分類法の表を見ながら、自分なりに「仕分け」をしていく。(☆) (本時) ・班でどのようにして「仕分けた」のかを話し合い、その内容を端的にまとめて発表する。(☆)
第3次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの「仕分け」の学習をもとに、「上位語・下位語」の概念を説明する。 ・自分できめたキーワードから言葉のくくりがわかり、上位語・下位語の繋がりを理解する。 ・振り返りをする。

本時のねらい

- ・自らに与えられた資料を学習したNDCに基づいて分類し、情報を検索するときの言葉の大きなくりを理解する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDC（日本十進分類法）の表を確認する。 ・例を示し、どのような本がどこに分類されているのかを理解する。 ・与えられた資料を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NDCを事前に学習しておき、どのような配架になっているのかを理解させる。 <p>（手元の図書資料をNDC（日本十進分類法）に分けていく。そのために、図書館の資料の配架位置を説明する。）</p>
展開 (30分)	<p>2. 図書館内の配置をヒントに考えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料をNDC（日本十進分類法）ごとに振り分けていく。 ・分けたものをワークシートに記入していく。 ・8分で5冊の図書資料を仕分けし、次に回していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料をもとにNDC（日本分類十進法）へとわけていく。 ・どの分類に何があるのかを具体的に理解する。
まとめ (15分)	<p>3. 交流・ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「どのように分類したのか」をまとめて、班で交流する。 ・班で話し合ったことを「オクリンク+」で共有する。 ・全体で共有する。 ・学んだことを振り返りシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのポイントで分類したのかを説明できる。 ・それをもとに全体に発表することを伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・図書館の資料を使い、「どのようなルールで仕分けしているのか」を理解させる際に、事前に「NDC（日本十進分類法）の表」の意味を十分に理解させる。
- ・前時では、「分け方のルールは人それぞれいろんな方法がある」ことを学んでいるので、大きな上位語とそれに関する下位語の概念を理解し、本を分類するときに、前時に学習したことをもとに自分なりのルールで整理するように促す。
- ・生徒の振り返りでは、「分類はルールのもと分けられていること」や「みんなの決め手を聞いてわかった」などの声があった
- ・教員からは「興味のない本を手にとるいい機会になっている」や「調べ学習の掴みとしていい学習になった。」という振り返りがあった。



与えられた資料の分類を班で考えている様子